

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	太鼓道場管理事業			コード	23125	
2 担当部課	部等	経済部	課等	商業観光課	作成者	小口 康生
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	観光の振興	
		予算科目	太鼓道場管理事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷太鼓道場条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	和太鼓の伝承発展と芸能文化の振興		
目的	対象者	太鼓道場利用者及び今後利用する可能性のある者	
	意図	岡谷太鼓文化の継承及び新たな打ち手の増加	

5 施設の管理運営状況		25年度指定管理料	円
指定管理者			
施設における 通常業務	太鼓道場の管理、受付、清掃。		
事業の実施内容	<p>（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <p>①太鼓道場の開錠、警備装置解除 ②道場外観確認、闇灯油タンクの油糧確認、プロパン庫確認、車庫確認 ③道場内の見回り確認 ④全館清掃 ⑤道路敷地の清掃・除草⑥当日の各練習室の使用予定をボードに記入。状況により第1・2練習室の仕切り壁の開閉⑦予約システムによる予約状況の確認 ⑧入館者状況の確認⑨練習室使用者の受付、使用料収入事務 ⑩使用者に対し、施設管理上のルールを遵守を促し、秩序に努めさせる。⑪遅番者への引継ぎ ⑫使用料金を商業観光課へ持参 ⑬管理事項に関する商業観光課への連絡 ⑭小破損個所の修理 ⑮施設関係鍵の管理</p>		
前年度の課題への対応			

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	28.7%	26.8%	26.6%	
年間開設日数（日）	308	308	308	308
1日の開設時間（時間）	10	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	15,400	13,860	13,860	13,860
年間利用実績（時間）	4,416	3,710	3,683	
② 年間利用者数（人）	16,334	14,837	17,519	15,100
有料利用者数	13,540	12,644	15,447	13,000
無料利用者数	2,107	1,680	1,552	1,600
減免措置者数	687	513	520	500
③ 年間利用件数（件）	2,149	1,777	1,863	3,372
有料利用件数	1,999	1,631	1,639	1,746
無料利用件数	128	120	192	1,600
減免措置件数	22	26	32	26
④ 1日あたり利用者数、件数	60.0	53.9	62.9	60.0
⑤ 施設利用状況の説明	年間利用可能時間は年間開設日数×1日の開設時間×5部屋			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	31,768,228	4,262,583	4,078,130	4,702,000
経常経費	4,783,228	4,262,583	4,078,130	4,702,000
臨時的経費	26,985,000	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	560,000	560,000	560,000	560,000
正規職員の人数(人)	0.07	0.07	0.07	0.07
③ 合計コスト(①+②)	32,328,228	4,822,583	4,638,130	5,262,000
前年度比		14.9%	96.2%	113.5%
財源	30,641,228	3,378,883	3,100,330	3,449,000
内訳				
一般財源	30,641,228	3,378,883	3,100,330	3,449,000
特定財源	1,687,000	1,443,700	1,537,800	1,813,000
* 特定財源の説明	使用料収入			
④ 施設使用料年間収入額	1,687,000	1,443,700	1,537,800	1,813,000
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	100,000
⑥ 受益者負担割合	5.3%	33.9%	37.7%	40.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト	289	290	239	
前年度比		100.4%	82.4%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 116.7%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比 106.5%	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	昼間の開館時間について、調整しているが、引き続き昼間利用者の増加について課題となっている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	情報発信の方法。	
改善開始時期	平成26年4月～	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			